

## 都道府県別指導体制状況(平成31年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	31
青森県	81
岩手県	14
宮城県	7
秋田県	32
山形県	109
福島県	97
茨城県	126
栃木県	21
群馬県	7
埼玉県	53
千葉県	24
東京都	35
神奈川県	25
山梨県	6
長野県	41
静岡県	85
新潟県	49
富山県	61
石川県	94
福井県	130
岐阜県	83
愛知県	102
三重県	164
滋賀県	28
京都府	15
大阪府	29
兵庫県	60
奈良県	9
和歌山県	22
鳥取県	9
島根県	36
岡山県	3
広島県	3
山口県	7
徳島県	15
香川県	26
愛媛県	32
高知県	24
福岡県	51
佐賀県	35
長崎県	36
熊本県	35
大分県	57
宮崎県	43
鹿児島県	13
沖縄県	24
合計	2,089

出典：農林水産省生産局農業環境対策課調べ(都道府県から聞き取り)